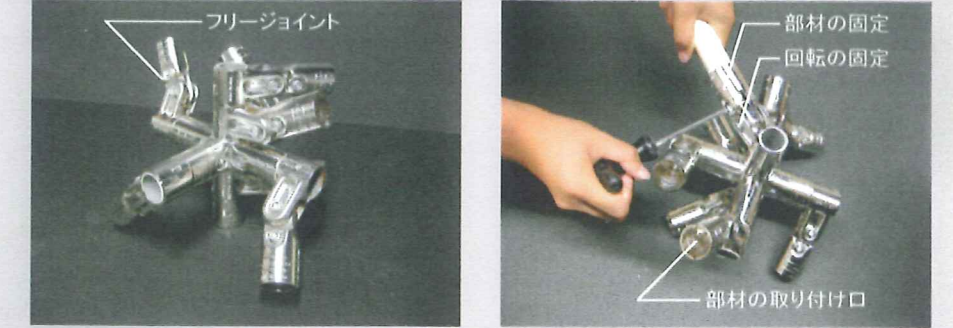




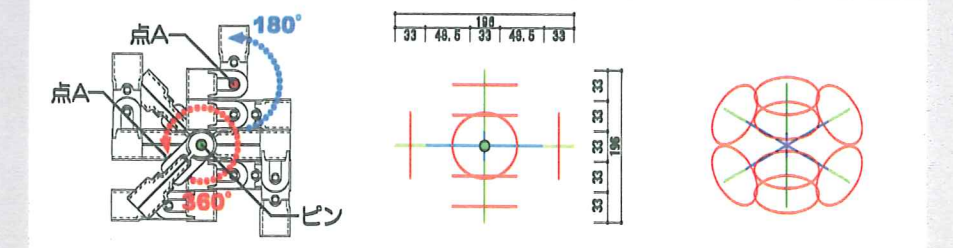
〈実体化=正確な部材寸法+360度フリージョイント〉

最終的に得られたモデルは、角度の異なる不規則な三角形で構成されている。実体化を行うためには、全ての三角形の角度が必要となる。しかし、正確な寸法の部材と360度フリーなジョイントを組み合わせれば、自ずと完結した架構の施工が可能であると考えた。

①ホームセンターで入手可能な既製品部材による360度フリージョイントの考案



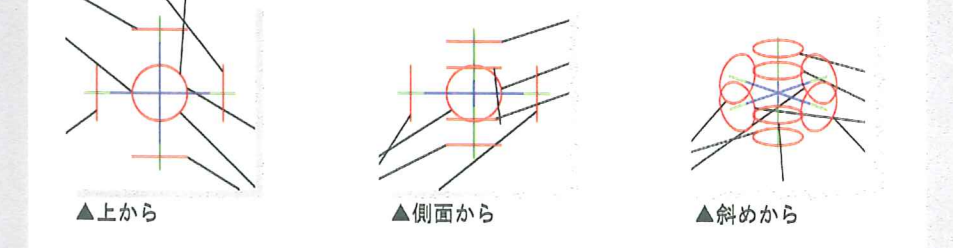
②360度フリージョイントのモデル表現



- ・正確な部材長を計測するため線画で表現
- ・フリーとなる点Aの軌跡を円で表現

③ジョイントの配置と部材の接合操作

- ・点Aの軌跡（円）に線分（部材）を接合



④部材両端の座標抽出による部材長の算出